

知的障がいのある方にとって、余暇活動として望ましい森林活動に必要なことを明らかにしました

## 背景

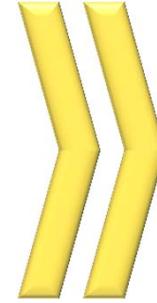
### 北海道生まれの言葉「木育」

「木とふれあう」「木に学ぶ」「木と生きる」

■ 子供や健常者だけではなく、障がいのある方に木とふれあい、森を楽しんでもらいたい

※ 「北海道森林づくり基本計画」では、木育の基本理念や施策の展開方向が示されています

知的障がいのある方が森を楽しめる活動を確立する



障がいのある方に望ましい森林活動のあり方

運営に求められる事柄

コミュニケーション評価

新たなプログラム開発

行動分析、統計解析

## 成果

### 運営に求められること

重い障がいのある方の参加を容易にする活動条件を解明

- 散策型の活動
- グループで行動
- 移動が少ない
- 歩く・拾うなどの基本動作



### コミュニケーション評価



障がいのある方とコミュニケーションを図ることが必要

- 障がいのある方とは、「冗談」「笑い」「同意」「励まし」などのコミュニケーションを多くとる必要があります
- 物事を予測したり、印象を述べたり、疑問をもつように誘導することが望ましい
- 言葉の少ない人は、言葉を使わない自発行動で意志を示す傾向があります

### 障がいがある方が楽しめる新たなプログラム開発

#### 木の円盤を使った神経衰弱



- 重度の方にもあわせやすいように、絵柄をあえて2種類にしました
- 絵柄「赤いきつね」と「緑のたぬき」



#### 電波探知機を使った宝探し



- 送信機を入れたぬいぐるみ（宝物）
- 5m以内に近づくと送信機から音楽
- 競争により、興味・関心を促します



反映

## 期待される効果

（成果）知的障がいのある方に望ましい森林活動のあり方を提示

研究協力機関への成果の直接的還元

刊行物等により社会に発信

障がいのある方の余暇活動の充実